

2025 SUPER GT RACE REPORT



SUPER GT 第5戦 鈴鹿サーキット 公式練習・公式予選

8月23日 天候：晴れ コースコンディション：ドライ

2025年度のSUPER GT第5戦が8月23日・24日に鈴鹿サーキットで開催されている。全8大会で行われる今シーズンも後半戦に突入。TRS IMPUL with SDGは、イレギュラーなレースフォーマットで行われた第4戦で5.5ポイントを獲得し、現在は24.5ポイントでランキング6位。今大会は49kgのサクセスウェイトを搭載してのレースとなる。予選日の鈴鹿サーキットは曇り空ながら、やや息苦しさを感ずるほど湿度が高く、じっとりと汗ばむ陽気に。気温32度、路面温度42度というコンディションで始まった公式練習で、TRS IMPUL with SDGはベルトラン・バゲット選手が先にステアリングを握った。計測5周目に1分48秒405をマークすると、平峰一貴選手に交代。ピットインとピットアウトを繰り返しながらマシンのセットアップを煮詰めていく。GT300クラスとの混走時間後半に再びバゲット選手が感触を確かめると、最後の10分間で行われる専有走行では平峰選手がドライブ。この時点ではバゲット選手の出したタイムがチームとしての最速タイムだったが、平峰選手はここから1秒以上削って1分47秒361をマークし、3番手で公式練習を終えた。

公式予選のQ1には、平峰選手が出走。気温は34度、路面温度は47度と午前中よりもやや上昇していた。セッションが開始して早々にコースインした平峰選手は、アウトラップからハイペースを見せ、まだタイヤを温めている段階のラップでもタイミングモニターでトップに付ける。計測5周目のアタックラップでは、1分45秒738をマーク。2番手とは0.06秒と僅差ながら、堂々のトップタイムでQ1を突破した。

チームメイトの気迫あふれる走りに自信を深めたバゲット選手は、平峰選手同様計測5周目のアタックで1分45秒762というタイムをたたき出す。午前中の自身ベストタイムから3秒近く削ったが、ライバル勢のタイム更新も大きく、順位は5位という結果に。52周で争われる明日の決勝レースは5番グリッドからスタートすることとなる。



【コメント】

■ TRS IMPUL with SDG 平峰一貴選手

公式練習で走り始めたときには、あまり調子が良くありませんでした。ただそれは、路面状況も自分たちにマッチしていなかったため、監督やエンジニアと話をし、「路面コンディションが向上してくるのを待とう」ということになり、セットアップに関してはほんの少しのだけで予選に挑むことになりました。GT500クラスが走る前にGT300クラスの走行もありましたし、実際にコンディションは良くなっていて、タイヤもクルマも調子が上がったので、良かったです。アタックラップに関しても、持っている現状の中ではミスなく集中して、ベストを尽くせました。もちろん、後から見直せばいろいろと課題点は出てくるものなので、そこは次に向けて見直していこうと思っています。決勝は早めに前の車両を抜いて、いいレースがしたいですね。チームのみんなも一緒に頑張ってくれると思うので、皆を信じてしっかりと戦いたいです。

■ TRS IMPUL with SDG ベルトラン・バゲット選手

公式練習の走り出しではオーバーステアを感じて、フィーリングとしてはあまり良くありませんでした。2クラスの混走時間だったこともあり、GT300クラスの車両も多くコース上が混雑していたので、そういった中ではタイムを出すのが難しいセッションでした。それでも、専有走行では平峰選手がいいタイムを出してくれていたし、Q1ではさらにタイムを縮めてトップに立ちました。彼の走りを見てクルマの速さを実感したので、Q2を走ることが楽しみになったし、自信をもって予選に挑むことができました。結果、5番手という順位は悔しいです。2番手のクルマからは0.2秒差、3番手とは0.1秒差ありません。ただ、サクセスウェイトの軽いチームが上位に並んだことを考えると、49kgを載せている自分たちがこの位置にいることは悪くないと思っています。明日の決勝も楽しみにしています。

■ TRS IMPUL with SDG 星野一樹監督

公式練習の出だしは、自分たちが持ち込んできたものに対してコンディションが合わなかったのですが、時間が経つにつれて温度も上がり、徐々に良くなっていきました。予選の時間帯の路面コンディションであれば全く問題ないだろうと想定していたので、そこまで不安を持たずに、予選を迎えました。Q1での平峰選手の走りは素晴らしいですね。彼はレースに対して100%の力を注いでいるので、結果が出ない時には本人はもちろん僕も悔しい思いを感じる時がありますが、今回の様に彼の力が結果として出てくれて、非常にうれしかったです。バゲット選手のアタックの際には、車両側の制御の部分で若干うまくいかない部分がありました。それがなければもう少し行けたんじゃないかと思います。朝、コンディションがあまり良くない中で乗っただけで、しっかりとアタックのシミュレーションができていなかったのですが、そういうプレッシャーのかかる状況でいい走りをしてくれました。今回は日産勢として上位に並んでいられていますし、ドライバーズサーキットと言われる鈴鹿で、2人が頑張ってくれると思うので、チームがしっかりとサポートして、いいレースをしたいですね。

2025 SUPER GT

第5戦 鈴鹿サーキット 8月23日 Photo Gallery

